

星のたより

2026(令和8)年
3月号
Vol. 378

新会員、新団員募集!

～友の会新会員、日本宇宙少年団
鳥取アストロ分団新団員募集!～

さじアストロパークに事務局がある、さじアストロパーク友の会と、日本宇宙少年団鳥取アストロ分団では、4月から一緒に活動する仲間を募集中です。詳しくは、さじアストロパークのHPをご覧ください。

①さじアストロパーク友の会

さじアストロパークの事業に参加・協力し、星の知識の有無に関係なく、楽しく天体や宇宙を眺めたい人たちが集い、会員相互の親睦をはかることができます。「佐治天文台の入館料が無料になる」などの特典があります。

②日本宇宙少年団鳥取アストロ分団

日本宇宙少年団は、宇宙飛行士の山崎直子さんを理事長とする全国組織です。鳥取アストロ分団は鳥取県内唯一の分団で、さじアストロパークを中心に宇宙や科学に関する活動を毎月おこなっています。主に小学3年以上の人が入団できます。(男女ともOKです)

皆既月食を見よう

～宇宙ふしぎ探検で観察会開催～

18時～22時30分まで臨時開館します

2025年9月8日(月)以来の皆既月食が、3月3日(火)に見られます。ちょうど観察しやすい時間帯ですので、みなさんぜひお見逃しなく。

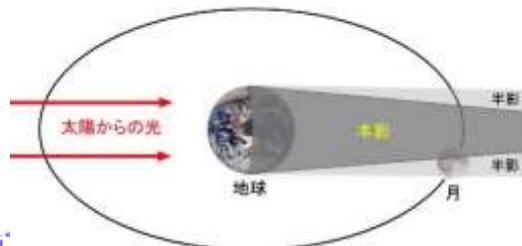
宇宙ふしぎ探検「皆既月食を見よう」

日時：2026年3月3日(火) 18:30～22:30

場所：さじアストロパーク

定員：なし

参加費：一般300円、小人 無料



さじアストロパークのホームページはこちら



イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆第12回アストロ宇宙写真展 2026年3月15日(日)まで
さじアストロパーク職員が撮影した星や宇宙に関連した写真を解説付きで展示
第32回星景写真コンテスト入賞作品展 3月18日(水)～6月14日(日)まで
2025年度に募集した、星と風景がいっしょに写った写真のコンテストで入賞した作品を展示

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 テーマ番組「身近な天体① 月」 6月14日(日)まで

☆夜間観望会☆ ☆3月のテーマとおすすめ情報

望遠鏡で撮影体験 19時から(限定3組)	7(土)、14(土)、20(金・祝)、21(土)、28(土)
木星 20時から(定員40名)	7(土)、14(土)、20(金・祝)、21(土)、28(土)
観望会で月がよく見える	1(日)、25(水)～29(日)
観望会で満天の星が楽しめる	6(金)～8(日)、11(水)～15(日)、18(水)～21(土)



☆3月の休館日 2(月)、3(火)、9(月)、10(火)、16(月)、17(火)、23(月)、24(火)、30(月)、31(火)
3月3日(火)は、宇宙ふしぎ探検「皆既月食を見よう」のため18:00～22:30で臨時開館



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

1. プラネタリウム ☆平日は3回、土日祝は4回投影しています

前半は当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。

★前半の当日夜の星空解説

星座の探し方を中心に当日夜の星空を専門職員が語り紹介します。

★後半のテーマ番組 ※季節ごとにテーマ番組が変わります

春のテーマ番組【身近な天体① 月】 投影期間 2月18日(水)～6月14日(日)

※月をいろんな角度から紹介するさじアストロパークのオリジナル番組です。



2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会 (天体観察会)

夜空の状態により、当日の観察天体が異なります。土曜日の事前予約は不要です。その他の曜日は、ご利用日の前の開館日・午後5時までにご予約ください。団体利用は1カ月前までにご予約ください。

3月の星座と観察天体より

☆ かに座

かに座は4等星以下の星で形作られているため、実際の夜空で探すのは難しいかもしれません。月明かりのない良く晴れた日にポルックス(ふたご座)・レグルス(しし座)・プロキオン(こいぬ座)のできる三角形の真ん中あたりをさがしてみてください。もしかすると、ぼんやりとしたシミのようなものが見つかるかもしれません。このシミの正体



は、カニの甲羅にある散開星団プレセペ星団(M44)です。星は目立ちませんが、かに座の歴史は古くバビロニア時代から存在しています。ここが太陽の通り道であったため、古代の人にとっては重要な位置となり、誕生星座の一つにもなっています。神話に登場するかに座は、英雄ヘルクレスがヒドラ退治のときに、ヒドラの応援に駆け付けた大ガニとされています。残念ながらヘルクレスに踏みつぶされてしまいましたが、その勇気をたたえて星座となりました。かに座にはM67という散開星団もあります。

・プレセペ星団/M44 (590光年、星の数は約75個) ・M67 (2700光年 星の数は約65個)

☆ ふたご座の中を移動していく木星

ふたご座は、カストルとポルックスの兄弟の名前の付いた明るい星があり、星の配列も覚えやすく夜空で探しやすい星座です。そのふたご座に今、見慣れない明るい星が輝いていて、なんの星?と思うことでしょう。この星は星座の中を移動していく惑星で、正体は木星です。冬のどの星よりも明るいのでとても目立ちます。2～3月は移動も少ないですが、よく観察すると確かに星空の中を動いているのがわかります。



木星

今、木星が見ごろとなっています。20 時ころ、南の空の高いところを見ると、ひときわ明るい星を見ることができます。それが木星です。今回は木星について紹介します。

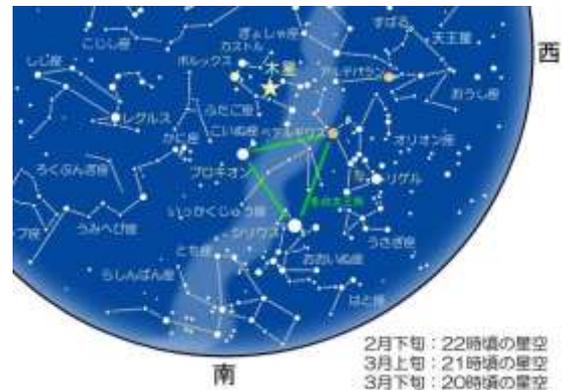
木星のデータ



大きさ（赤道半径）：71.492 km（地球の約11倍）
自転周期：約9時間50分
公転周期：約12年
衛星の数（報告個数）：97個（軌道が確定したもの：72個）
太陽からの平均距離：約7.8億km
大気成分：水素90%、ヘリウム10%（大地がない）

木星の探し方

夜8時ころ、南の方角を見てください。南の空の高いところにもものすごく明るい星があります。それが木星です。明るさが-2.4等あります。月がなければ、見えている星の中で一番明るい星ですので、すぐに見つけることができると思います。現在はふたご座にいます。ふたご座は、明るい星2つ（カストルとポルックス）が目じるしになります。



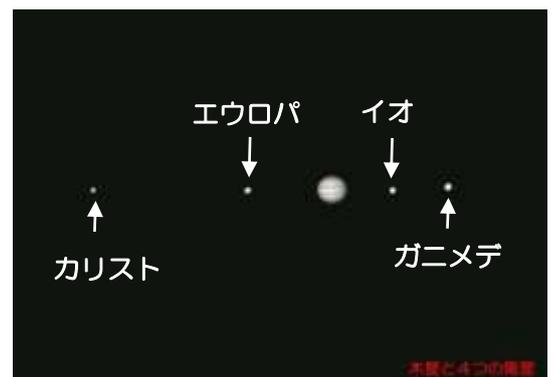
木星の特徴



木星の特徴は縞模様^{しまもよう}です。約10時間で一回転という速いスピードで自転しているため、東西方向に流れる雲が発達します。この東西方向に雲が並ぶため縞（しま）と呼ばれる模様を見ることができます。この縞模様は、小型望遠鏡でも見ることができます。また、大きな赤い丸いもの^{だいせきはん}を見ることができますが、これが大赤斑です。ここでは激しい嵐が起っています。この大赤斑は約350年前から知られていますが、年々小さくなっていて、現在では地球直径の訳1.3倍となっています。

木星の衛星

木星を望遠鏡で見ると、木星のそばに4つ星を見ることができます。これが木星の衛星です。この4つの衛星は1610年にイタリアの天文学者ガリレオが発見したことから、「ガリレオ衛星」とも呼ばれています。時間を空けて観察すると、衛星の位置が変わっていることがわかります。衛星の数は、以前は1位でしたが、現在は土星に抜かれて2位となっています。（土星の衛星の報告個数は274個です）

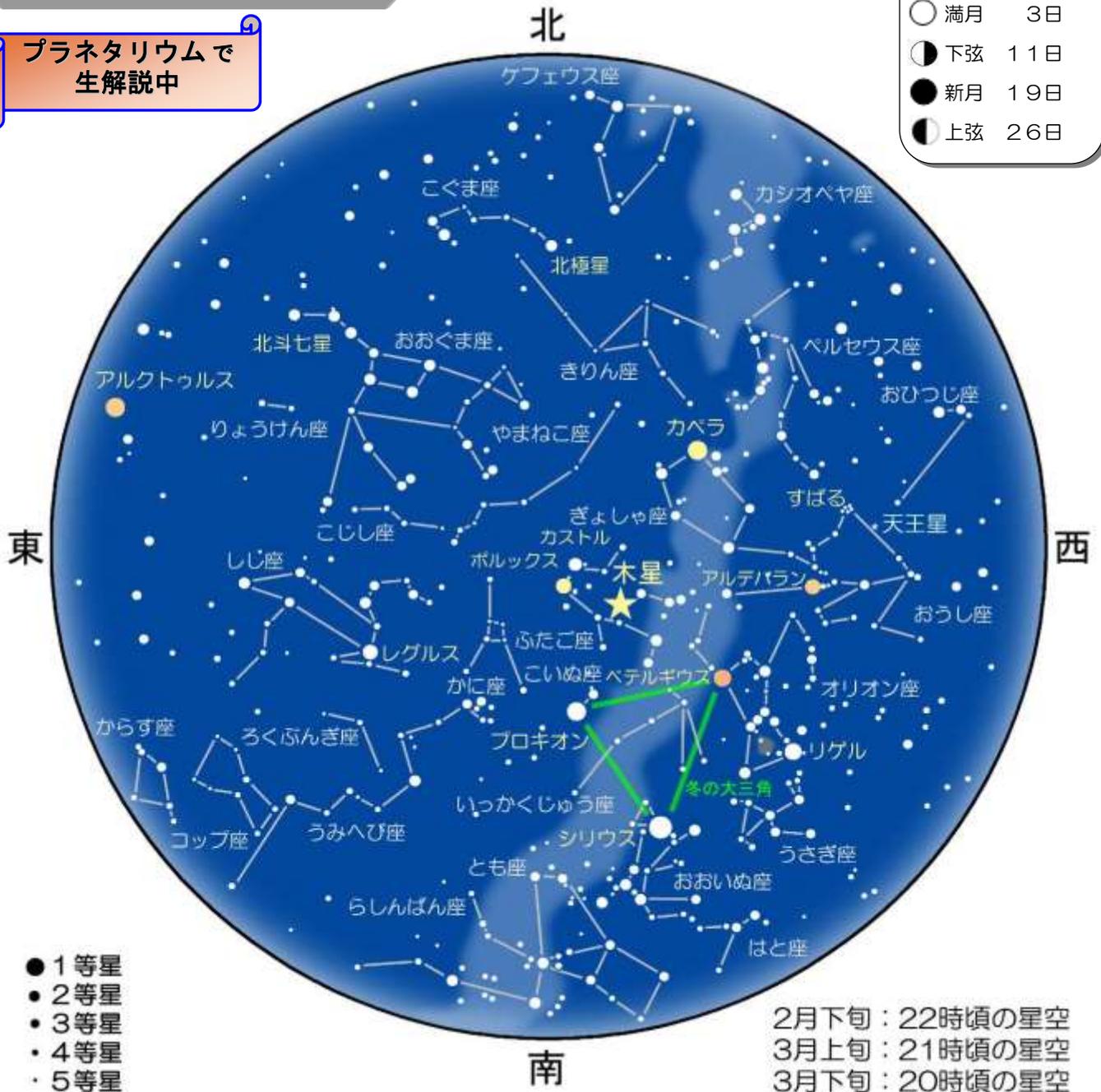


2026年3月の星空

3月の月の暦

- 満月 3日
- ◐ 下弦 11日
- 新月 19日
- ◑ 上弦 26日

プラネタリウムで
生解説中



☆日中は春の気配を感じはじめましたが、夜はまだまだ冬の気温。防寒対策をしっかりとって星空を観察しましょう。なんとといっても3月3日の皆既月食は見逃せませんね。

☆夜空の星々も冬から春に移り行く時期、西の空は冬の星空、東の空は春の星空とちょうど半々に見えていますね。空の高いところにひととき明るく輝く「木星」がまだまだ見頃。南西の空に目線を下ろしていくと、「オリオン座」や「冬の大三角」が見えています。「おうし座」の「すばる」が西の空に傾いてきて見える時期はあと少し。今のうちに観察しておきましょう。南東の空には「しし座」が堂々とした姿を見せています。しし座と木星の間には「かに座」があります。星座占いにも出てくる星座ですが、暗い星ばかりなので見つけるのはかなり難しいです。腕試しにチャレンジしてみましょう。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtube、インスタも開設。

さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp